

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

DOYU 2011 April 4 Vol.537
MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE

特集



21世紀型
自立型企業づくり
あなたから買いたい

有限会社包装の江島屋

後継者

江島

奈穂子氏

嘉穂支部

第41回

中小企業問題全国研究集会報告

「呼び起こそう、経営者の魂を！切り拓こう、地域の未来を！」

「今こそ同友会理念の実践と検証を」



唐津市波戸岬の岩場で見つけたイソギンチャク

謹んで震災のお見舞いを申し上げます

被災地同友会は、頑張っています!!

岩手同友会より

届け！同友の春風、岩手の隅々に

全国の皆様の想いが、春風に乗って岩手の地域の隅々に届き始めました。

新潟に集まった全国同友会からの救援物資は、山形、宮城を経由し、18日から毎日直送便で届いています。

現在岩手県内の被災地、特に沿岸部ではまだまだ食料も、生活物資も全く足りない状況です。しかし県が指定した盛岡の救援物資拠点には、配送されず山のように重なった物資が置かれたままです。沢山の方々の想いを、本当に困っている人たちに届けられない、もどかしい被災地の現状があります。

避難所においでの方は、まだ定期的な温かい食事の提供や、医薬品の準備などがあり、条件としては良いほうです。厳しいのは小さな公民館や、自宅を開放した小規模避難所です。範囲は非常に広く、行政も把握できていません。電気も水道もまだ復旧せず、食料も十分に供給されていません。移動するにも燃料が全くありません。

同友会の物流ルートは、当初から全く違いました。全国に血管のように張り巡らされた都道府県バトンルートが、いち早くつくられ、私たちが今本当に必要としているものが、血液のように流れています。新潟から届く全国からの便、秋田、青森から直接届く便で盛岡に物資が集められ、沿岸地域に毎日4トントラックとハイエースで配送されます。

震災後から、陸前高田ドライビングスクールは、さながら市役所のような機能を果たしています。物流、情報、人の交流拠点です。物資を乗せたトラックが到着すると「こんなにいたの」と思うほどの人がいつの間にか出て来て、自然にそれぞれの避難所へと車が動き出す。その動きを支えているのが、気仙支部会員企業の社員の方々です。そして「声」を聴いてくるのは、会社も自宅もなくなってしまった同友会の会員です。「何か人の役に立ちたい」甚大な被害を被った地域の人たち自身も、想いは同じです。街はなくなっても生き続ける中小企業の姿です。岩手の最も南の拠点である高田から、こうしたぬくもりのお届けルートが、大船渡、釜石まで延びようとしています。

福島同友会より

福島県同友会会員 各位

2011年3月22日
福島県中小企業家同友会
東日本大震災対策本部長 安孫子 健一

苦境に負けず、今こそ中小企業家魂を発揮し、企業存続にむけ全力を尽くしましょう

今こそ中小企業家魂を発揮し、企業存続に全力をあげましょう。

一日も早い原発事故の沈静化と、燃料不足の解消を願いつつも、いま我々中小企業家がいち早くとり組むべき事は、まずもって自社の社員と取引先、お客様を守ることを優先して行動を起こす事です。今こそ、社員の雇用と生活の守り手、地域社会を支え守り続けてきた「地域経済と雇用の守り手」としての誇り、中小企業家魂を発揮し、企業存続に全力をあげましょう。

各地同友会で、支援に向けての動きが広がっています。また、被災地同友会でも、地域と共に歩んできた同友会だからこそその復興への声明文が届いています。それらのほんの一部を掲載します。E.doyu 掲示板には、その都度各地の動きを掲載していますので、ご覧ください。

**がんばろう、中小企業！
がんばれ、日本！**

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

私の左上から射し込む太陽の光を受けたイソギンチャクの触手や中央で織りなす鮮やかな緑の色彩に感動してシャッターを切りました。
撮影場所は唐津市波戸岬の入り江の岩場です。



街の法務オフィス竹内
行政書士
たけうち まさひこ
竹内 正宣氏（博多支部）



「あなたの写真で表紙を飾りませんか！」

表紙の写真をご募いたします。テーマは「私の逸品」です。詳細は、福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部まで

締め切り…平成23年6月号は平成23年5月1日必着

投稿方法…電子メール、郵送いずれも可

表題に「みんなの広場」とご記載ください。

郵 送 先…福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

もしくは n_ooba@fukuoka.doyu.jp まで

※応募が多数の場合は編集委員会でご選考いたします。なお、投稿いただいた作品は返却いたしませんので、ご了承ください。

特集

21世紀型 自立型企业づくり 4

あなたから買いたい

～店舗は情報発信の場・受信の場～

有限会社 包装の江島屋

物づくり・人づくり・地域づくり ⑧ 7

スッキリしたあと味のはちみつジャム・ゼリー
サン・フカヤ有限会社

第41回 中小企業問題全国研究集会
報告 8

ようこそ同友会へ 9

委員会紹介 10

第10 回理事会報告 13

4月行事案内 14

訃報

わかまつ とおる

若松 通様（株）環境造園 代表取締役（北九州支部）

3月10日、ご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

福岡同友会では震災直後から、義援金へのご協力を呼びかけています。

「東日本大震災被災会員への義援金ご協力についてのお願い」

福岡同友会では、被害に遭われた被災地域のみなさまを少しでも支援するため、「今後の同友会のあらゆる会合での募金へのご協力」を呼びかけました。

改めて、「東日本大震災被災義援金」の募金の口座を開設し、会員のみなさまに訴えることとなりました。今後も同友会の会合の折に募金呼びかけをしますが、直接お振込みいただく場合は右記口座へ義援金をお寄せ下さい。

福岡銀行本支店からお振込み頂く場合は、店頭での振込み手数料は無料になっています。ATMからの振込みは、手数料負担となりますのでご了承下さい。

■福岡同友会の動き

会員への義援金呼びかけと並行して、会員企業への「東日本大震災の経営への緊急影響調査アンケート」を実施しました。3/16～23日の8日間という短時間の間に、500名を超える回答を頂き、関心の高さが示されました。この結果をもとに3月25日（金）、福岡県と九州経済産業局に要請を行い、マスコミ発表も行いました。その要請内容は以下の通りです。

- （1）資材不足、供給困難な状況を緩和するための努力をしてください。
- （2）被災地以外の中小企業で起きている間接影響による中小企業経営を支えるための金融制度を整備してください。
- （3）雇用調整助成金の柔軟な運用で雇用を守れるようにしてください。
- （4）必要以上の自粛ムードをあおらず、活発な経済活動で日本経済を支えましょう。

福岡県中小企業家同友会

代表理事 福田 賢輔

代表理事 岩本 博

代表理事 古場 則光

【振込先】

福岡銀行 吉塚支店

口座番号：（普通）1586231

名義：福岡同友会東日本大震災義援金

代表理事 福田 賢輔

（フクダ ケンスケ）

*いただいた義援金は、同友会会員や被災地域のみなさまの復興のために使われます。

*中同協のホームページ（Doyu Net）に「東日本大震災」のコーナーを開設し、中同協のとりくみ、各地同友会のとりくみ、関連情報などを発信していますので、ご参照ください。

<http://www.doyu.jp/>

あなたから買いたい

店舗は情報発信の場・受信の場

ディスカウントストアやネットショップの出現で苦戦を強いられる流通業界。実家の後継を決意した時どのような戦略を展開したのでしょうか。店舗に掛ける熱い思いを取材しました。

業態変更に挑む

「このお店は、昭和23年飯塚駅前で祖父母が生活雑貨店としてスタートさせました」と語り始めたのは(有)包装の江島屋・後継者の江島奈穂子さんです。両親の代になり、筑豊炭鉱は全盛期を迎え地域にスーパーが進出して来ました。それに伴い江島屋はスーパー向けの商品(ポリ袋・レ

ジ袋・食品容器や紙袋など)を中心に業者卸しとして実績を重ねるのでした。やがて広いスペースを取れる土地の話があり、駐車場も確保できるとあって現在の場所に移転します。時代は平成になりバブルが弾け景気は低迷し始めます。しかし、広い駐車場の確保と同時に個人客向けの店舗売り(道の駅・ふれあい市・オリジナルウエディングな

ど)は上昇傾向でありました。両親は会社の業態移行を検討している状態でした。当然後継などは考えていなかったのですが、平成7年様々な経験をした奈穂子さんが入社することになりました。翌年には(株)シモジマのセミフランチャイズ「パッケージプラザ エジマヤ」として業態変更し踏み切るのでした。卸し(B to B)から小売り(B to C)



昭和54年(1979)



昭和42年(1967)



昭和23年(1948)創業時



現在の店舗

へと大きく舵を切ったので
す。

自分のやりたい仕事が ここにあった

かねてより江島さんは『食』
に関する仕事がしたいと考え
ていました。フードコーデ
イナーの資格取得のために
専門学校に通っていました。

そこでの学びは幅広いもので
した。『食』っていうのは単
に厨房に入り包丁を握るだけ
じゃないということに気づき
ました」と江島さん。どのよ
うな素材を使うか。それは誰
が生産しているのか。おおい
しく見せるにはどうしたらよ
いか。どうすれば食べる方に喜
んでいただけるか。そして利
益はどう確保するか。その立
地条件は・・・など様々な切
り口があります。「これって、
実家でやっていることではな
いか」と思いました。「自分
のやりたいことが身近にあっ

たんです。お菓子で言えば、
作った人の思いはどのような
ものか。どのようなパッケー
ジにいれるか。リボンやカー
ドを添えたらどうか。心を込
めることでおいしさ・喜びの
お手伝いができるんです」。
そこで入社した江島さんは両
親と共に勇気を持って、業態
変更を図るのでした。

正の影響・負の影響

親会社シモジマのコンセプ
トは「包装用品をベースとし
たコンビニエンス」とありま
す。小売り形態のパッケージ
プラザとなることで、外回り
の営業を止め配送も止めまし
た。長年祖父・両親の時代
から付き合ひの業者さんから
は「疎外感が出てきた」と言
われ辛い思いもしました。し
かし江島さんは手応えを感じ
ていました。従来「プロ」で
なければ手に入れることがで
きないアイテムが一般客にも

手軽に買うことができる。一
方、エジマヤにとっては
セミフランチャイズに
なることで仕入れが
優遇されるとともに、
現金売りで回収が早
く利益率が上がると
読みました。店内は
お客様のクリエイティ
ブな発想を掻き立てるよ
うなシズル感たっぷりの「楽
しくなる空間」を演出してい
ます。

差別化は『人』

「ウチの差別化は『人』です」
と江島さん。つまりスタッフ
のサービスだということです。
スタッフはお客様の名前・顔
を覚え、購買履歴などをつづ
さに台帳に記入しています。
台帳はどのスタッフでも見ら
れるようにして情報を共有し
ています。「その時注意しな
ければならないのは、ホント
にそれが欲しくて買ったの
か、欲しいものがなくて買った
のか。お客様の本当の需要

有限会社 包装の江島屋
後継者

えじま な ほ こ
江島 奈穂子氏
嘉飯支部

取材 広報情報室

文章 菅原 ひろし

写真 事務局

一部写真提供 有限会社 包装の江島屋

▼ corporate data

有限会社 包装の江島屋
創 業／1948年
住 所／飯塚市堀池134-6
TEL 0948-22-3185
社員数／2名 パート4名
資本金／300万円
年 商／2億円

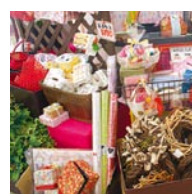




シズル感たっぷりにディスプレイされた楽しい店内



フラワーラッピング用品



包装の基本、風呂敷も



メッセージシールの数々



野菜を入れるビニール袋「ボードン」は、超人気商品

を聞き出すということですが、店舗は商品の陳列によりいわば『情報の発信』をしているのですが、同時にお客様の需要を聞き出すという『情報の受信』も兼ねているのです。現在エジマヤで売られているのは野菜を入れる「ボードン」というビニール製の袋です。野菜を入れると内側に水滴が付かない防曇（ぼうどん）の性質があり農家でよく使われ

ている素材です。これが家庭農園をしているお客様に受けているのです。さらにその商品にパンを入れたりお菓子をを入れるという使用方法を聞きだし、別のお客様への提案にも繋がっています。尚、この商品は人気があり入荷するとスタッフからお客様にDMや電話連絡を入れるそうです。

「わざわざお客様がお店まで来てくださる。お客様が求めていることをお聞きすることを心掛けています」。お客様にひと声運動、これは非常に大切なことですが強要になつては元も子もありません。付かず離れずの距離が難しいといえます。これを江島さんは『営業』と位置づけています。お客様のそばに行つてその近辺の商品の整理をする振りをして話しかけるとか、レジに並んでいる人に声掛けする時はその後ろに居る人を意識して説明しているそうです。「その時は買わなくても、次回その商品を買うんですよ」とネタを明かしてくれました。

「確かにネットやディスカウントショップに脅威を感じてはいますが、実際に商品を見ていただき、多くの商品の中からチョイスし、スタッフの心の通ったコミュニケーションを取る。これがエジマヤの強みです」。

エジマヤで働く意義

お客様に喜んでいただくとともに、スタッフには「エジマヤ」で働くことにも喜びを感じて欲しいと考えています。

江島さんは給料日にはスタッフ宛に手紙を添え、コミュニケーションを図っています。

また、スタッフの能力向上も修得してもらいたいと考えています。その一つが『ラッピング教室のノウハウ』。江島さん自身も地域で『風呂敷教室』を開催して好評を得たといえます。

さらに責任感を植えつける意味では、仕入れの一部をスタッフに任せています。売り

場に立って肌で感じるお客様の要望、それを仕入れることにより売り込みにも熱の入れようが違ってくるというもの。しかしその反面、フランチャイズの条件は買い取り（返品なし）です。売れ残れば在庫のリスクがあります。さらに品切れは来店したお客様にご迷惑を掛けることになりかねません。仕入れはともシビアで、それが故に責任感が出るといえます。

自立型企業とは

取材の最後に江島さんが考える『自立型企業』についてお伺いしました。「どんな商品でも買うのは『人』、売るのは『人』ですよね。原点は『人』だと思ふんです。同じ買うなら温かいサービスをするところから買いたいと思うでしょう。『あなたから買いたい』といわれるようなお店じゃないでしょうか」とまとめていただきました。取材協力ありがとうございました。

スッキリしたあと味のはちみつジャム・ゼリー

サン・フカヤ有有限会社

代表取締役 船木 ふなき

治氏 おさむ
中央支部



「商品開発って楽しいですね」と語る船木さん

老舗が生み出した新食感

黄金色に輝くプルプルのジャムをこんがりトーストに乗せてさくつと一口。はちみつのなんとも言えない甘みとレモンのさわやかな酸味が口中に広がります。はちみつと言えはべたべたとしたイメージがありますが、食べ終わった後はすっきりしていて、口の周りにも残りません。レモンでスッキリとした味にまとまったはちみつジャムは、新天町の老舗喫茶サン・フカヤで食べることができます。



はちみつとレモンのさわやかな酸味が口の中に広がります

FASTで始まった商品開発

「始まりはFASTですね」というのは代表の船木氏の言葉。もともとは商品開発をするつもりはなかったそうですが、FASTの例会で、スミヨシの荒木氏のマンナンベースの話聞いたとき、一つの発想が浮かんだそうです。日本では、

はちみつの本当の魅力は意外と知られてなくて、はちみつは甘さの割にカロリーが控えめで、栄養も豊富で、さらに殺菌作用まであるという優れた食材です。ただ、べたべたとしていて使いにくいということでは何かと敬遠されている方も多いのではないのでしょうか。

このはちみつをジャムやゼリー状に固めることで食べやすくしようというのが開発のきっかけで、あちこちに相談した結果、今のはちみつジャム・ゼリーが完成しました。

商品力を高めるために

多くの企業が悩んでいる「商品化」、これもFASTの中で得たものが大きかったといいます。福岡県は全国的にも商品開発の支援に力を入れている県で、実は相談窓口はたくさんあります。そういった国や県、市のサポートを受けて形になったのはちみつジャム・ゼリー。福岡県が

主催する福岡産業デザイン賞でも奨励賞を受賞しました。

「商品開発って楽しいですよ」と笑顔で話す船木氏。今後、はちみつジャム・ゼリーのメニューがもっと並ぶようになるかもしれません。はちみつジャムは小売もしていて、もうすぐ通販開始の予定です。



サン・フカヤで是非ご試食ください

corporate data

サン・フカヤ有有限会社
〒810-0001
福岡市中央区天神2-8-216
TEL 092-721-1030
FAX 092-721-1031
<http://sun-fukaya.net>

取材・撮影…広報情報室 南 史聡



第41回 中小企業問題全国研究集会

3月3日～4日、岡山にて、「呼び起こそう、経営者の魂を！切り拓こう、地域の未来を！～今こそ同友会理念の実践と検証を～」をメインテーマに第41回中小企業問題全国研究集会が開催されました。全国から1117名(福岡から35名)が参加し、16の分科会、記念講演などで学びあい、全国の仲間達と交流を深めました。

入会して4年半、先輩会員に全国行事参加を勧められて参加するようになりましたが、三大行事以外にも含め9回目の全国行事参加となりました。

今回の記念講演では、県や国の行政機関に依存した国家であったり、地域の事を任せっぱなしであったりしては、地域は良くならいことを考えさせていた

だく講演でした。地域文化の良さや歴史を捉え、未来に向けて発展させているのは、大企業の名前があげられますが、今、大きな大企業であっても、そのスタートは中小企業である事を認識して使命感を持って進んでいきます。

分科会は、第13分科会「同

会歴12年目にして初の全研参加。きっかけは二つ。

一つは昨年受講した役員

友エコ」で新しい仕事づくりと社員が主役になる企業づくり」に参加しました。宮城同友会、共同求人委員長の体験報告だけあって、同友会理念に則った成長の過程がとてもよかったです。中々まねの出来ないほど、報告者は社員やお客様の前では明るく、自分もそうならねばと思いました。

同友エコへの取り組みは、会社の中で、誰にでも取り組める労使関係にギャップがない部分で、明日からでも取り組める内容でした。環境についての取り組みから多くの商品開発の気付きを社内でも生み出す部分など、経営指針・新卒採用・社員教育の三位一体の実践をしつかりとされているところは自

研修大学でようやく(?!?)同友会の目的および活動精神(自主・民主・連帯)が理解

社でも取り組んで、これから2年間で形にしていきます。全国行事に参加する度に、経営者としての学びの本質の部分においては、自分自身が、徐々に磨かれていけると思います。また、他県の会員さんと接する事で、地域の特色などもわかり、自分の住んでいる場所や環境を客観的に見ていけるように感じます。

来期は、南支部の支部長(予定)として勉強させていただくのですが、多くの会員の皆さんと経営課題を持って参加して、それを持ち帰り、例会やブロック会で深い学び合いをしていきたいと思っています。

貼りアップ株式会社

代表取締役 濱田 浩光

(南支部)

でき、企業経営に役立つ様々な受け皿が同友会活動を通して用意されていることに感動

ようこそ同友会へ
welcome
Fresh our partners

新入会員
ご紹介



株式会社 ブラテック

九工大発 IT ベンチャーです。
IT、携帯を活用した業務効率化
の提案を得意としています。

北九州市若松区ひびきの 1-8
事業化支援センター 309
TEL 093-695-3477

いわさき まさあき
代表取締役 岩崎 正明 福友支部

入会のきっかけは経営についてセミナーな
どで勉強するよりずっと実践的に学べる場所
があるよとお誘いを受け、知る会に参加した
ことでした。

同友会で多くの経営者とお会いして本物の
経営者になりたいと思っています。



株式会社
スクラムソフトウェア

ソフトウェアの企画、設計、開
発及び販売。ソフトウェアの保
守及びサポート業務。

福岡市中央区薬院 3-14-26
F ビル 4F
TEL 092-526-7911

たちばな のぶひろ
代表取締役 橘 信洋 福友支部

経営に携わる人間として勉強したいという
思いがあり、福友支部の会員様から同友会を
紹介してもらい入会しました。さまざまな業
種の経営者様方の話を聞くことができ刺激を
受けております。

今後は、例会で学んだ事を即現場で生かし
ていきたいと思っています。

した事。
もう一つはこれも昨年初参
加した中同協総会での中小企
業憲章草案採択。仕事（生命
保険）柄、日頃より中小企業
のオーナーと会う機会が多く
様々な相談を受け解決策を提
示するものの今ひとつ一体感
に欠けていたモヤモヤ（これ
からの経営者はどうあるべき
か）が中小企業憲章の基本原

則と行動指針の中に具体的に
唱っており、もっと理解を深
めたいと思った事。従って分
科会は当然第10分科会（中小
企業憲章と新成長戦略）を選
んだ次第。会場に入って驚い
たのは、中同協鋤柄会長を始
め各県の代表理事や委員長が
多数参加していること。我が
福岡県のミスター中小企業憲
章中山氏の顔も然り。リー

ダー格の経営者の関心の深さ
を改めて実感。大槻眞一阪南
大教授の（日本は何で稼ぎ、
何で雇用するのか 中小企業
こそが経済の主役にならなけ
れば地域は？日本は？）の報
告に会場に真剣さが漂う。さ
らに驚いたことはグループ討
論。報告の感想も底々に（自
分の県ではこういう風に取組
んでいるけれどあなたの県で

は？）（自治体に働きかけは
こういう点に注意しなけれ
ば）と具体的かつ積極的。全
国の会員の熱心さとレベルの
高さに脱帽の私にとって期待
以上の充実した分科会であり
ました。
最後に次回開催は福岡同友
会ということで多数の福岡の
会員の方々が来ておられまし
た。一週間後には大変な震災に

遭われるとは。慎んでお見舞
い申し上げます。1日も早い
ご復興をお祈り申し上げます。

KS インシユアランス
代表者 小久保 喜道
（福博支部）

委員会紹介

福岡県中小企業家同友会では、支部での体験報告例会を学びの基本としています。その一方専門的な経営課題を具体的に解決するための委員会や研究会も設置し、さまざまな活動を行っています。2011年度は、一部組織の変更も予定されていますので、今回、委員会を紹介することになりました。委員会の勉強会については、月刊「同友」に同封されている案内とe・doyuによる案内を行っていますので、興味のある委員会に一度参加されてみてください。

経営指針委員会

人間尊重の経営を目指すうえで、社員をパートナーと位置づけ、会社経営を行っていくには、経営指針の作成・浸透が不可欠です。同友会では、経営理念・経営方針・経営計画の3つがそろってはじめて経営指針と言いますが、経営理念を「あすなる塾」で経営方針・経営計画を「経営指針作成セミナー」で作成しています。また、「企業変革支援プログラム」の活用により、経営指針の浸透を図ることに

も取り組んでいきます。

■あすなる塾

経営指針の概要を理解し、自社の経営理念について考える1日セミナーです。各地区で年2～4回開催しています。

■経営指針作成セミナー

あすなる塾でつくりあげた経営理念を元に、経営方針・経営計画について考える2泊3日のセミナーです。県主催で年に2回開催しています。



2010年度 1回目の経営指針作成セミナー

■企業変革支援プログラム

中同協発行の書籍で、同友会の「3つの目的」や「中小企業における労使関係の見

解」「21世紀型中小企業づくり」のエッセンスを抜き出し、それらを企業変革のために必要な重要な要素として整理分類し、自社の成長発展を図る物差しとして使えるよう、ま

とめ上げたものです。またe・doyuにデータ入力をすることで、データ蓄積、他社との比較ができるようになります。

求人共育委員会

社員をパートナーと位置づ

け、人間尊重の経営をその理念に掲げる同友会では、とりわけ社員との関係作りが大事になってきます。その第一歩が、新卒採用、そして共育にあるととても過言ではありません。具体的には、合同入社式、新入社員研修、共同求人活動（合同企業説明会や大学訪問、学校との懇談会）等を行っています。単なる人採り、人育てではなく、個人個人の力を育てその能力を発揮させるために経営者自身が学び、企業づくりを実践します。

■合同企業説明会

中小企業1社では学生もなかなか集まりませんが、合同で企業説明会を行うことにより学生と中小企業（同友会企業）の出会いの場を作ります。合同企業説明会に向けては、学校訪問を行い連携を深めます。また、企業としては採用活動を通して企業を変革します。

■合同入社式

4月1日に、新入社員が一同に集まり合同で入社式を行います。社会人としての門出

を祝い、入社した喜びと社会人としての自覚を持ってもらいます。毎年マスコミからも注目をされています。

■新入社員研修

4月に新入社員研修、10月に新入社員フォローアップ研修を開催しています。1社ではなかなか難しい研修を合同で行い、質の高い研修を目指します。社会人・企業人とし

ての自覚を促し、「働く」ことについて考えます。また、企業の垣根を越えての同期のつながりを作り、共に励みし合える仲間づくりを行います。もちろん経営者も自ら参加し、新入社員と語り、新入社員が学んだことを一緒に自社に持ち帰り、一緒に振り返ることで、共に成長することを目指すことが大切です。これが共育ちです。

経営労働委員会

経営労働委員会では、同

友会の根源でもある人間尊重の経営について考え、『労使見解』の学びと実践を行なっています。2010年度は、『社員が安心して働ける同友会らしい就業規則を作成し、実行しよう』のスローガンのもと会員の社労士さんの協力を得て就業規則作成セミナーをシリーズ

で5回開催しました。

2011年度は、引き続き就業規則作成セミナーを開催するとともに、労使見解勉強会、女性部委員会と協同したワークライフバランスの勉強会を開催する予定です。また2011年8月に北九州にて開催予定の「経営労働問題全国交流会」の企画も行っています。

企業連携推進委員会（FAST）

FASTは自立的で創造型の企業づくりを目指し、産学官連携を活かした、新たな仕事づくりを目的に、産学官ネットワークを幅広く構築する活動をしています。

を具体的に探し、やる気のあるもの同士が連携して研究・開発・販売を実践していきます。

企業連携とはコア企業と協力企業と支援企業が一つになって新規事業に取り組むことを言います。FASTは事業の繁栄・成功に向けてダイナミックにビジネスを推進するプロジェクトチームの集合体をめざし、67名が活動しています。



FASTは仕事づくりを目的として、左記の4つを活動の柱にしています。

① 例会

●産学官連携を学ぶための勉強会（連携・ブランド・創造、企業革新等）

② 交流会

●産学官の緩やかなネットワーク拡大

③ 事業化サポート

●仕事づくりのプロデュース

●産学官連携でのマッチング

●助成金など行政機関・金融機関からの情報提供ほか

④ 会費

年間12,000円

（例会会場費、会外講師費等）

新規事業の立ち上げ、新商品・新サービスの開発にその活動を活かし、一緒に研究・調査などをする仲間

地球環境問題委員会

地球環境問題委員会は、環境保全を考えながら、より地球に優しい製品開発や事業経営を考えていくことを目的に1996年に創設されました。年々深刻な問題となっている環境問題は、今や企業が果たす社会的責任です。

取り組みの一つとして現在会員の皆さんに参加呼びかけを行っている「同友エコ」は、地球温暖化に拍車をかける二酸化炭素(CO₂)の排出量削減と自社独自の

国際交流委員会

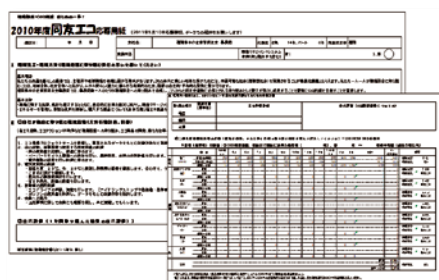
経済のグローバル化が進む中、アジアの玄関口に位置する福岡では、中小企業といえども、海外への企業進出が検討されるようになってきました。国際化に関する勉強会に始まり、韓国や中国の行政・企業との懇談会、

取り組みによる環境経営で、企業革新と持続可能な社会づくりに貢献する新たなビジネス・産業モデルの創造を目指しています。その他にも、オフィス資源として最も多い紙のリサイクル促進を目的としたペーパーリサイクル回収事業や、環境保全・エネルギー技術といった環境技術の交流の場として毎年3万人の来場をするエコテクノへの参画を行い、会員企業の環境製品・技術・サービスのアップグレードを行っています。

留学生との交流や、現地でのチャレンジショップの開設など幅広い活動を行っています。

大連チャレンジショップは北九州市、北九州商工会議所、フクオカファイナンスシャルグループと提携し、中国・大連

2011年度は、新たな取り組みとしてエコビジネス部会を立ち上げ、自社の製品やサービスのグリーン化や環境ビジネスの創出を目的に勉強会の開催等していく予定です。



同友エコ応募用紙

にチャレンジショップを開設し、進出の足がかりを作っています。その他にも、韓国、香港、シンガポールなどへの経済視察団派遣も行う予定です。

バリアフリー委員会

共生社会の実現をめざし、障がい者雇用促進の活動を行っています。具体的には、特別支援学校の生徒に職場体験を推進しており、生徒の皆さんに、働く喜びを感じ

てもらっているながら、社内の活性化にもつなげています。また、勉強会も定期的に開催することにより、その啓蒙活動に力を入れています。

女性部委員会

女性部委員会は同友会理念に基づき、経営環境改善は基より生活者の視点を大切に経営に生かそうと、そして女性経営者の悩みの解決及び相互の学びの場となるべく勉強会を開催しています。さらに今後は女性部

による経営革新取得チャレンジセミナーも開催していく予定です。また、引き続き他県女性部会との交流も深め、県を越えた会員相互のネットワークづくりにも取り組んでいきます。

NPO交流ソーシャルビジネス特別委員会

2011年度から新しく設営される予定の委員会で、NPOとの定期的な交

流と協働をすすめる、ソーシャルビジネスの研究と学習を進めます。

今回の委員会紹介は、3月15日現在のものです。2011年度の組織、活動予定に関しては変更になる可能性もありますので、その旨ご了承下さい。

2010年度 第11回理事会報告

■日時：2011年3月9日(水) 15:00～18:00

■会場：福岡県中小企業振興センター 501 会議室

■出席：51名(欠席委任27名) 出席率：65.4%

■議長：中山副代表理事

●2月10日に死去された、故緒方義裕氏((名) 林商店 代表社員 久留米支部会員)を偲んで黙祷をささげました。

□開会あいさつ(古場代表理事)

会社でも組織でも理念があり、その実現のために活動がある。我々理事は常にどのようにしていったらいいかを念頭に置き議論を深めていきたいと思ひます

審議事項

- 2010年度活動総括(古場代表理事)
第9回理事会で審議した総括に実績の数字を入れて最終議案とすることを報告提案し、承認されました。
- 中小企業をとりまく情勢(中村理事)
提案に対して、「世界経済と日本経済の見出しを分けてほしい」「福岡県経済と九州を含む地域経済を分けて記述してほしい」「総論的ではなく、地区ごとや業種業界などきめ細かな分析をのぞむ」という意見を受け止め、加筆修正することで承認されました。
- 2011年度運動方針(中山副代表理事)
これまで審議し承認してきた方針に、加筆した点(以下の項目)を提案し、承認されました。
 - 例会を「原則として」会員の経営体験報告とグループ討論とすること
 - 例会に室長を置き、円滑な運営で学びが深まるようにすること
 - 例会の「座長」「室長」「グループ長」「グループ発表者」「例会のモデルスケジュール」を明確にしたこと
 - 「共同求人、社員共育、経営指針の三位一体の活動」と順序を正しく記述すること
 - 経営者フォーラムのテーマを「全社一丸の企業づくり～経営者と社員の誇りと課題～」とする
 - 「物の購入やサービスの提供は会員企業から」経済交流の活性化を「企業づくり」の活動の中に新たに加えたこと
 - 増強の方針で、「増強の意義を全員で共有し、創立50周年にむけて建設的な目標を設定すること」を一番にしたこと
 - 広報情報化本部の設置に对外広報強化を加筆した事とブロック活動や例会をホームページに掲載できる組織を構築することとしたこと
 - 地区会の検証について、現状把握と目標設定と加筆したこと※会員が減少している状況をしっかり総括し、新年度の活動にとりくもうと発言がありました。
- 2011年度組織構成(中村理事)
 - 「同友すばる特別委員会」「NPOソーシャルビジネス特別委員会」「法人化検討特別委員会」について、役割や構成、活動内容など提案。
 - 同友すばる特別委員会の構成は、60歳以上の会員(会歴は問わず)を参加資格とすること、一定の役割が終われば地区に移行させること。
 - 法人化検討特別委員会は、福岡同友会の法人化の是非および法人化するとしたらどのような法人とするか、定款や会計制度などを検討し、正副代表理事会へ答申すること、また委員には地区の推薦者も加える事の見解を加えて承認されました。
- 本部、室、委員会の活動と構成、正副の担当について資料に基づき確認があり、求人共育委員会の担当が樋口次期副代表理事とする訂正の上、確認されました。
- 2011年度活動計画および予算案の検討(中山副代表理事)
 - 年間活動スケジュールについて、一部調整の必要も出てきているので、未定のところは早急に決めて報告してほしいと要請がありました。
 - 予算策定の今後のスケジュールについて申請型予算で、各支部・地区、委員会、室、本部から出されたものを集計した。全体の予算枠の中で大きく上回ってより再検討が必要となっている。初めてのとりくみで試行錯誤の中だったため、不十分な対応もあったが、総会にむけて以下のスケジュールで早急にすめ、確定していきたいと提案。承認されました。
 - 3月10日、臨時現・新正副代表理事会および財政室合同会議を開催し、活動費予算枠を確定する。

- 3月11日以降に、各地区・支部、本部・室・委員会で見直し検討を行う。
 - 3月28日、現・新正副代表理事会議を開催し、最終的な予算案を策定する
 - 3月30日、臨時理事会を開催し、予算案の審議、承認
 - 4月1日～7日 総会議案書作成(並行してe・doyuの文書管理に議案のアップ)
 - 4月8日に会員への総会議案一斉送付
 - 4月19日までに質問、意見の集約
 - 4月20日 第12回理事会で総会設営の最終確認および質問や意見に対する回答の審議
 - 4月26日 第49回定期総会
- 2011年度の活動計画
 - 第23回中小企業経営者フォーラムの企画案(林田委員長)
資料に基づき、「企画案」が提案され、承認されました。
 - 中小企業憲章推進本部「憲章閣議決定1周年記念『大学学習会』」の開催について(中山副代表理事)
 - 6月21日(火) 福岡県中小企業振興センター大ホールにて、中小企業庁の事業環境部企画課の宮本課長を招いて開催する、福岡県中小企業団体中央会との共催とすると提案され承認されました。
 - テーマの「『日本経済の復活を!』は後退するイメージになるので、『日本経済の成長は、中小企業の手で!』としてはどうか、と意見が出され本部で再検討する事になりました。
 - 第49回定期総会開催について(岩本代表理事)
 - 記念講演は実施せずに、できるだけ審議の時間をとることと、経営者としてこれからのうごきをつかむために、九州経済産業局の滝本局長より30分ほどのメッセージを頂く事としたと提案、承認されました。
 - 総会の議長は、貞地理事と森理事に了解いただいていると報告がありました。
 - 総会表彰の予定について報告がありました
 - 臨時理事会開催について(2011年3月30日 15:00～18:00 福岡県中小企業振興センター一会議室)(福田代表理事)
承認されました。
 - 統一地方選立候補者への要請について(中村理事)
 - 知事候補への質問状、直方・大牟田市長候補者への要望書および県議当選者への当選祝いと要望を提出する事が提案され承認されました。
 - 「公職選挙に際しての心得について」を改めて会内で徹底する事が確認されました。
 - 入会・退会等審議(事務局長)
 - 入会31名、退会24名、除籍2名、退籍2名を承認
 - 移籍5名を報告
 - 3月会員数2057名(対前月比+3名)

協議事項

- 2010年度の会員増強推進(2400名にむけての動き)(白石副代表理事)
 - 理事が先頭に立って増強を推進する
 - 地区・支部では最後まで目標達成を追及する
 - 今年度の増強表彰の締め切りを3月31日午後5時とする
 - 次年度にむけて、退会申し出者のうち、3ヶ月を過ぎても対処が明確になっていない方については支部で討議して明確にしたいと問題提起がありました。
 - 改めて、増強の意義を確認しました。
- 両筑支部設立にむけて(林県南地区会長)
3月24日の設立にむけて、動いているが現地で新たな入会が一桁の状況で、苦戦している。引き続き、知り合いの経営者の紹介をお願いしたい。
また、他地区から応援で設立に駆けつけようといううれしい申し出を頂いたが、両筑の会員が少ない中に多くの方が一挙に参加したくとも萎縮してしまうので、3月の設立は自分たちでさせていただき、5月に行政や他団体など来賓を迎え、他地区の会員の応援をお願いした披露の総会を開催したい。
- 飲酒運転しないさせない宣言の再確認(古場代表理事)
2006年に起きたあの飲酒運転事故以来、福岡同友会では「飲酒運転を絶対しない、させ

ない宣言」をして今日までできました。福岡県は全国ワーストワンであり、先日も新たな飲酒運転事故で高校生二人の命が奪われてしまいました。子どもたちの間でチェーンメールも発信されていると聞きます。私たちは経営者としてそして大人として、このような悲しい事が起こらないよう、再度飲酒運転を絶対しない、させない宣言を確認し、徹底していきたいでしょう。

報告事項

- 2010年度の活動進捗状況と要請
 - 本部、室、委員会の活動
 - 求人共育委員会(時枝委員長)
「オール九州合同説明会(4月16日 福岡)」の開催、2011年度共同求人活動の案内および、3月17日南支部例会「歴代求人共育委員長が語る、同友会の魅力」への参加呼びかけさらに、合同入社式(4月1日)、「新入社員合宿研修」の案内がありました。
 - 女性部委員会
3月15日、熊本同友会・福岡同友会女性部合同勉強会の案内と参加呼びかけ
 - 経営指針推進本部(林田副部長)
経営指針アンケートへの協力要請
 - 地区活動
福岡地区福博支部の25周年記念事業の案内(東日本大震災の発生で、中止と決定)
 - この間の活動の報告(事務局長)
資料に基づき、前回理事会以降の活動と参加状況を報告。1ヶ月間の例会をはじめ学びあいの場に会員延べ1004名(会員数の約50%)、入会対象者93名が参加したと報告されました。
 - 中同協関係
 - 第42回全研(岡山)参加報告
・福田代表理事より、福岡から35名が参加、第2分科会福岡の会員の吉原住宅街の吉原さんが報告者、新内さんが座長をつとめていただいた。交流会の場では8月の経営労働問題交流会のアピールを行ったと報告がありました。
 - 参加者の中で、新内さんと大石さんより感想の発表をいただきました。
 - 各委員会・部会等の報告
特に報告はありませんでした。
 - 対外関係(事務局長)
 - 後援・共催・寄付等
・NPO 諸々(あいあい)の「筑後川マラソン2011」後援を承認
 - 福岡同友会より福岡県中小企業団体中央会への、「中小企業憲章大学学習会」共催依頼を承認
 - 西支部3月例会(わいわいフリーマーケット)売上金寄付を承認
 - 70歳まで働ける企業創出事業の進捗状況
・この間の事業概要を報告。3月18日に第3回(最終回)の推進会議を開催する事を報告
 - 新卒応援プロジェクト進捗状況
・第1回面談会が開催され、マッチングが7社8名決まったと報告
 - 引き続き3月24日に第2回面談会、4月21日に第3回面談会を開催。希望企業は申し込みをしてほしいと要請。
 - 各機関より協力要請事項
・福岡県労働福祉部労働政策課より「高校生、地元企業紹介事業」への協力要請(新年度協力)
 - 日本労働組合総連合会福岡県連合会より懇談申し入れ(福田代表理事)
 - 福岡県中小企業団体中央会より、労働者派遣事業適正運営協力員への就任依頼(福田代表理事)
 - その他、対外的活動について報告
- 会員企業のごき等(事務局長)
 - 経営革新計画承認企業 8社
 - 福岡県中小企業経営革新 3,000社突破記念フォーラム優秀表彰企業 1社
 - 経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業採択(九州初) 1社

□閉会あいさつ(福田代表理事)

3月30日臨時理事会、4月20日の第12回理事会で総会をしっかりと準備して4月26日がいい総会になるようにしたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひして閉会とします。

19 四 18:30—21:00 玄海支部4月例会

SWOTぶんせきちゃあなんね？

■天神ビル 11F

福岡市中央区天神 2-12-1 ☎ 0120-323-920

■田中 恒和氏 株式会社エルショップ 代表取締役 (玄海支部)

荒木 正文氏 荒木正文公認会計士事務所 代表者 (玄海支部)

今、我々中小企業を取り巻く環境は大変厳しい時代に入っています。この時代をしぶとく生き残って行く為に自社の持っている強み・弱みを再発見し武器にしていきたいと思います。その為の第一段階として SWOT 分析があります。知っている人も知らない人ももう一度 SWOT 分析にチャレンジしよう！

19 四 18:30—21:00 北九州支部4月例会

社員と共に5年後、10年後の企業作り

～求人活動、共育(ともそだち)～

■リーガロイヤルホテル小倉

北九州市小倉北区浅野 2-14-2 ☎ 093-531-1121

■時枝 寛氏 株式会社コミプラ 代表取締役 (南支部)

(株)コミプラ 時枝社長の悩み、経営者になってからの悩み、同友会の出会い、経営指針、社員共育活動、共同求人活動の体験を話して頂き三位一体の実践を学びます。

20 水 18:00—21:00 東支部4月例会

自社の強みを活かし差別化して継続的利益を出そう！ ～同友会の活用の仕方～

■ホテルレガロ福岡

福岡市博多区千代 1-20-31 ☎ 092-651-7611

■花田 博道氏 株式会社花田設備 専務取締役 (南支部)

あなたの会社の『売り』はなんですか！？それは『売上』につながっていますか！？今こそ同友会が蓄積してきた知恵・ノウハウをあなたが活かすときです！！

20 水 19:00—21:00 大牟田支部4月例会

今の社内コミュニケーションはどうですか？ コーチングで会社を元気にしよう!!

■大牟田商工会議所

大牟田市有明町 1 丁目 1-22 ☎ 0944-55-1111

■山田 恵未氏 株式会社グランド技研 常務取締役

コーチングを通して社員さんとのコミュニケーションを学びます。

21 木 18:30—21:00 ひびき支部4月例会

失敗から学んだ業態展開のポイント ～地域一番店になる為の差別化戦略とは～

■クラウンパレス北九州

八幡西区東曲里町 3-1 ☎ 631-7725

■岸野 薫氏 西日本金属検査株式会社 専務取締役 (ひびき支部)

ひびき支部 4 月例会では、ひびき支部支部長自ら業態転換をはかり様々な失敗から学んだことや今後の戦略、展望をご報告していただきます。岸野流差別化戦略とは？

21 木 18:30—21:00 りょうちく支部4月例会

就業規則について (仮題)

■JA にじ 総合会館アルカス うきは市吉井町 682-1

■福島 克美氏 福島経営労務事務所 社会保険労務士

21 木 18:30—21:00 中央支部4月例会

「繋ぐ、つなぐ」実践に学ぶ

～ありがとう、あなたがいて良かった～

■天神ビル 11F 9号会議室

福岡市中央区天神 2-12-1 ☎ 0120-323-920

■佐東 和芳氏 サンキュウ株式会社 代表取締役

内村 大輝氏 カイロプラクティックオフィス天神 院長 (中央支部)

同友会の仲間と連携をとって、商品開発ができた、販売ルートに上手く乗せられた、良い仕入先が見つかった、いろんなアドバイスをもたらすことが出来た、精神面でかなり助けてもらったなど、同友会の良さを皆さんと共有し、喜びを分かち合います。

21 木 18:30—21:00 南支部4月例会

次期ブロック長予定者が語る、私と同友会との関わりかた。

(同友会活動を自社の組織に上手に組み入れよう！)

■テルラホール

福岡市中央区渡辺通 5-25-18 天神テルラビル ☎ 092-733-4444

■柿元 一徳氏 パーシモンズ 代表者 (南支部)

藤本ゆう子氏 yoU - Style 株式会社 代表取締役 (南支部)

河津健一郎氏 株式会社ラ・メルシーズカンパニー 取締役 (南支部)

平川 祐二氏 有限会社日高ボーリング工業 代表取締役 (南支部)

若菜 正高氏 然総合管理株式会社 代表取締役 (南支部)

皆様は、会員になって、自社に、自分自身に、同友会を十分活用できているでしょうか？

今回は、同友会を愛する次期のリーダーに、同友会の活用の仕方や、自社の取り組み、次期にける想いを語っていただきます。

21 木 18:30—21:00 筑紫支部4月例会

事業承継

■筑紫野市生涯学習センター

筑紫野市二日市南 1 丁目 9-3 ☎ 092-918-3535

■王 愛氏 有限会社五十番食品 代表取締役 (福友支部)

他社で普通の OL をしていたお嬢さんが、20 代の若さで突然事業を受け継ぐことになった時、何を感じ、何を思い、どう行動してきたかを素直に語ってもらい、自社の参考にします。また、いつ突発的に自分がいなくなるかもしれない。その時に事業が継続出来る態勢を、日頃からどのように考えて経営するべきかを学びます。

22 金 18:00—21:00 福友支部4月例会

経営指針書発表会

～経営維新～夢の実現へ向けた新たな船出～

■IP ホテル福岡

福岡市博多区中洲 5-2-18 ☎ 092-262-2009

■菅原 徹氏 株式会社アステックペイントジャパン (福友支部)

長友 法樹氏 株式会社アハヴィー化粧品 (福友支部)

今期最後の支部例会は、いよいよとなります経営指針書発表会です。昨今の世界情勢や環境をみると、その変化には目を見張るものがあります。この変動の時代を生き抜き、そして勝ち残るため、経営指針書の重要性は増すばかりです。ぜひご参加頂き、経営指針書の重要性を再度確認し、会社の明日につなげて下さい！

26 火 15:30—20:00 久留米支部4月例会

県総会振替

第49回 定期総会のご案内

2011年 4月26日(火) (15:30~20:00)

福岡県中小企業振興センター大ホール(2階)

福岡県福岡市博多区吉塚本町 9 番 15 号

■内 容／総会表彰・総会議事 (15:30~18:40)

九州経済産業局 局長 滝本 徹氏よりメッセージ

交流会 ※参加費は実費となります(19:00~20:00)

4月 18:30—21:00

**広報情報室
広報勉強会**

第3回テレビからの取材殺到！ プレスリリースの書き方

■同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町 9-15
■安田 孝廉氏 株式会社オムニモ 代表取締役（北九州支部）

プレスリリースとはマスコミに対しての広報活動のひとつで、新製品発売や決算発表などのお知らせを行う活動をいいます。例えば、御社の商品がワールドビジネスサテライトの「トレたま」に取り上げられたとしたら、全国からの反響は間違いありませんよね？御社にもそのチャンスは決してゼロとは言い切れません。上手にマスコミを活用して、御社の技術・商品・サービスを世間に発信してみましょう！

理想の企業づくりを目指すために重要な経営理念や経営指針書を作り上げても、実践していくことは、並大抵の努力ではできません。この例会では、人材育成で素晴らしい成果を上げておられる金川社長から「みんなで幸せになろう！」という経営理念が生まれた過程と、それを社員と共有し、実践し続けるためのポイントなどを、ご報告いただきます。報告の中に、社員を元気にする会社のヒミツがたくさん詰まっていますから、報告で感じたことを真剣に討論し、自社でも実践できる元気の素を見つけていただきたいと思います。

10日 10:00—16:00

青年支部4月例会

フレンドシップフェスティバル2011

■福岡市役所前広場

作業所という、身体にハンディキャップを持った仲間たちが一生懸命働いている施設があることを、より多くの市民の方にお伝えするイベントです。

●イベント内容 バザー、飲食店、ステージイベント、作業所授産品販売

16日 10:00—17:00

求人共育委員会

2012年度新卒採用合同企業説明会

■中小企業振興センター大ホール
福岡市博多区吉塚本町 9-15 ☎ 092-741-3335

16日 13:00—18:30

**新会員フォローアップ
セミナー**

■福岡県中小企業振興センター 501
福岡市博多区吉塚本町 9-15

同友会の歴史と理念、経営指針の重要性など、新会員向けの同友会活動をわかりやすく説明する導入セミナーです。

12日 18:00—21:00

西支部4月例会

若竹屋酒造場 14代目 林田浩暢氏熱く語る！

■天神ビル 福岡市中央区天神 2-12-1
■林田 浩暢氏 合資会社若竹屋酒造場 社長（りょうちく支部）

役員研修大学やあすなる塾・経営指針作成セミナーなど、同友会運動の中心的存在として活躍される林田社長から、後継者から経営者に脱皮したきっかけ・いきさつ、赤字続きだった老舗を黒字化した方法、社員の気落ちを一つにする「経営指針書」作成のススメなどを聴き、経営者の姿勢と思考、同友会運動の趣旨・活かし方、支部活動の方向などを学び考えます。

18日 18:30—21:00

有明支部4月例会

全社一丸の経営体制をめざして

■ランヴィエール勝島
柳川市南長柄町 22 ☎ 0944-73-9181
■森 茂博氏 和新工業株式会社 代表取締役社長（筑紫支部）
「経営指針の実践で企業風土の革新を」目指します。

14日 18:30—21:00

かすや支部4月例会

■粕屋町商工会 会議室

粕屋郡粕屋町若宮 2丁目 3-1 ☎ 092(938)2456

■宮崎 孝市氏 宝栄運送株式会社 代表取締役社長（かすや支部）

19日 18:30—21:00

嘉飯支部4月例会

ピンチはチャンスだ ～支部長となって4年間で得たもの～

■バドゥ・ル・コトブキ（ことぶきいかん）
飯塚市片島 1-7-62 ☎ 0948-22-5138
■山下 博司氏 有限会社山下ブロック工事 代表取締役（嘉飯支部）

15日 18:30—21:00

筑豊支部4月例会

業態転換における地域一番店のつくり方 ～失敗から学んだ事業展開のポイント～

■ユメニティのおがた 直方市大字山部 364-4
■岸野 薫氏 西日本金属検査株式会社 専務取締役（ひびき支部）
今回の4月例会では、業態転換をはかりながら、様々な困難や失敗から学びつつ、顧客ニーズの探求や差別化戦略を取組み、地域に密着した事業の仕組み作りを展開している、ひびき支部支部長、岸野専務の報告に学ぶ例会です。

19日 18:30—21:00

博多支部4月例会

人を生かす経営の実践 “企業変革支援プログラムの活用”

■天神ビル 11F 9号会議室
福岡市中央区天神 2-12-1 ☎ 0120-323-920
■北原 勉氏 社会保険労務士法人 COMMITMENT 代表社員
長伸幸氏、宮崎邦弘氏、前田友裕氏、船山稔氏（博多支部）
今回の支部例会では、まずは北原氏より、体験報告（30分）をして戴きます。北原氏は、社会保険労務士として1人でスタートされ、九州で初の法人化をされました。何故、法人化が必要だったのか？社員の入れ替えが激しい中、どう社員と向き合い今日に至っているか。そして企業変革支援プログラムを幹部社員と実践され、代表として、改めて経営指針書の大切さを痛感され、只今更に充実させ作成中の苦労話等を報告して戴きます。
その後、企業変革支援プログラム勉強会にて進行役をされた船山氏、長氏、宮崎氏、前田氏より、6回の勉強会で各プログラムの進行役をされての、ご自身の感想・学び、そして実践する大切さを報告して戴きます（各7分）。

15日 18:00—20:30

福博支部4月例会

社員とお客さまを元気にする、経営指針のヒミツ

■IP ホテル福岡
福岡市博多区中洲 5-2-18 ☎ 092-262-2009
■金川 俊一氏 株式会社ビッグロード 代表取締役（東支部）



お仏壇・墓石・墓地のご用命は・・・

お仏壇の
はせがわ

佐賀店
宮崎 隆利



株式会社 **はせがわ**
〒849-0933 佐賀市卸本町 5-20
TEL 0952-31-7181
FAX 0952-34-1056
フリーダイヤル 0120-31-7186

クリーン・ルーム及び塗装設備
焼却炉・ボイラー
製缶・水門
省力化機械
建設



株式会社 **大川 鉄工**

- 本社 福岡県大川市大字酒見 535 番地
TEL 0944-88-0033 FAX 0944-88-0081
メールアドレス ok-tekou@fancy.ocn.ne.jp
- 久留米工場 福岡県久留米市城島町江上 598 番地
TEL 0942-62-4832 FAX 0942-62-4833
- テクニカルセンター 福岡県三潁郡大木町前牟田 811 番地 1

今人気の茶染め製品

天然草工房

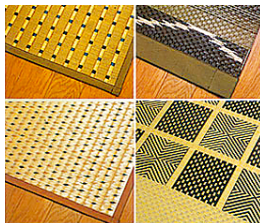


株式会社

ト-シン

代表取締役

田中 範久



〒831-0023 福岡県大川市大字下牟田口 123 番地
TEL 0944(87)3012 FAX 0944(87)7752

心と心が通い合う医療で皆さまの健康をサポートします



救急指定病院・開放型病院
(財)日本医療機能評価機構認定病院

医療法人 **福田 病院**

副院長 **福田 秀一**

〒831-0005 福岡県大川市大字向島 1717-3
TEL 0944-87-5757 FAX 0944-87-8627

ホームページ <http://www.fukuda-hp.net>
Eメール s.fukuda@fukuda-hp.net



総合診療科・内科・循環器
内科・泌尿器科・外科・整
形外科・形成外科・脳神経
外科・放射線科・リハビリ
テーション科・人工透析・
人間ドック

税の専門家が、ISO 認証取得の支援及び保守を
サポートします。

園田税務会計事務所
(有)大栄電算機会計センター
(株)ISO システム研究所

当事業所は、福岡県内においてISO9001:2008認証(適用範囲:税
理士業)を業界内で初期に取得しました。これから、ISO認証取得の
お手伝いを致します。
又、所員21名で、法人企業及び個人企業等の税務相談、記帳業務、決
算申告業務、相続税申告業務、経営計画書等を指導作成致します。



税理士 代表取締役
園田 嘉生

福岡県大川市大字津 22-2
TEL 0944-87-3579 FAX 0944-87-5160



被災地支援のチャリティーイベントも開催

春の大川木工まつり 2011

半期に一度のおまつりセールだから、
お買い得がいっぱい!

2011年 4月 9日(土) 10日(日)
9:00~18:00

メイン会場 **大川産業会館**
(大川市大字酒見221-3)

サブ会場 市内各ショールーム・協賛ショップ、大川家具工業団地(協)・Uゾーン、
(協)インテリアポート・エルパレ、大川市文化センター、
JA福岡大城大川中央支所倉庫 他

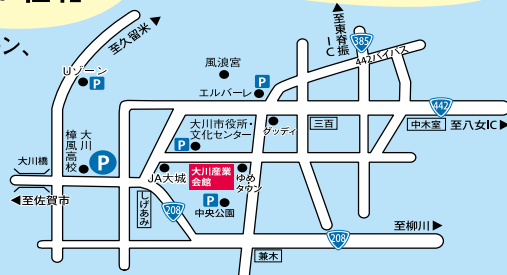
- 主催/春の大川木工まつり実行委員会
- 事務局/協同組合大川家具工業会 Tel.0944-87-2090

(有)マルヨシ民芸家具 代表取締役 吉原 敬利
(株)ノダ工芸 代表取締役会長 野田 泰也
(有)吉川木工 代表取締役 吉川 喬二
(株)みやざき木工 代表取締役 宮崎 泰介

総額**300万円**の
家具が当たる抽選会

出展**200社**の
驚きの価格

工場直送の最新商品が
10000点



春の木工まつり 検索 <http://www.okawa.or.jp>

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会 検索

福岡県中小企業家同友会 広報情報室 「月刊 同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11F TEL 092-686-1234 FAX 092-686-1230